

〈セミナーのご案内〉

※日時・会場変更しました!

回覧 [] [] [] [] []

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

高等教育活性化シリーズ 379 (通算 710 回)

2019 年 1 月 23 日 (水)

グローバルな進学・就職「審査」の相互認証――

高等教育の「資格枠組み」と質保証の展開 I

～ 学位等の国際通用性 / ASEAN・欧州の最新動向 / 東京規約 / 情報のウェブ公表 ～

- ※ 国の資格枠組みという考え方～発祥と展開 / 学問と職業 / BC・TN教育と学生流動質保証
- ※ ASEAN地域の高等教育質保証連携 / 資格参照・質保証・国別「枠組み」 / 質保証改革

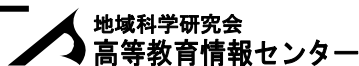
● 講師陣 ●

土屋 俊 氏 / (独) 大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 特任教授

早田 幸政 氏 / 中央大学 理工学部 教授 元 (財) 大学基準協会 大学評価・研究部長

【協力：大妻女子大学 人間生活文化研究所】

2019 年 1 月 23 日 (水) 大妻女子大学 人間生活文化研究所 セミナールーム (東京)



日 時：2019 年 1 月 23 日 (水) 13:30 ～ 16:50

会 場：大妻女子大学 人間生活文化研究所 セミナールーム

東京都千代田区三番町 7-8

大妻女子大学 図書館棟 6階

アクセス：JR総武線「市ヶ谷」駅、出口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 28,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 29,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 16,000 円 (税込)

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 379

高等教育の「資格枠組み」と質保証の展開 I

(□に✓印を)

当日参加

年 月 日

支払方法 郵便振替 当日払い

メディア参加

必要書類 請求書 見積書

銀行振込

領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:30 14:30	<p>□ 高等教育の「資格枠組み」とのアジア太平洋地域規約発効～今後の展開 ～ 入学資格・単位・学位等の相互承認と資格枠組み ～ (独) 大学改革支援・学位授与機構 土屋 俊</p> <p>1. 国の資格枠組み(Qualifications Framework)という考え方 (1) ヨーロッパにおける発祥と展開 (2) ボローニャ・プロセスとコペンハーゲン・プロセス (3) 学問と職業 (4) 日本にはなぜ資格枠組みらしきものすらないのか</p> <p>2. クロスボーダー(BC)・トランスナショナル(TN) 教育と学生流動の動向 (1) ユネスコのささやかな野望と東京規約 (2) 人の移動(student mobility)と大学の移動(offshore provision) (3) オンライン教育に国境はない(はず?) (4) 相互性(reciprocity)原則の夢</p> <p>3. 資格枠組みと高等教育の質保証 (1) 資格枠組みに標準なし (2) 学習成果とその記述 (3) 質保証の再焦点化 (4) 事例: NIAD-QE と MQA の質保証プロセスの比較</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40 16:50	<p>□ ASEAN地域の高等教育質保証と「資格枠組み(QF)」 ～ 我が国高等教育質保証システム改革の動向を踏まえて ～ 中央大学 早田 幸政</p> <p>1. 我が国高等教育質保証システム改革の現段階 (1) 高等教育質保証システム改革の背景 (2) 認証評価に関する最近の制度改正とその意義 (3) 大学基準協会(JUAA)、日本高等教育評価機構(JIHEE)の認証評価基準に見る 「3つのポリシー」、「内部質保証」—認証評価基準改定の要点— (4) 改訂認証評価基準の意義 (5) 再課程認定後の教職課程の質保証の方向性</p> <p>2. 高等教育のグローバル化と我が国高等教育の国際的通用性 (1) グローバリゼーションの進展に伴う我が国高等教育質保証の課題 (2) 「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約」の批准</p> <p>3. 高等教育質保証連携とASEANの国別の「資格枠組み(QF)」 (1) 高等教育質保証連携の背景 (2) ASEANの国別の「資格枠組み(QF)」</p> <p>4. ASEAN地域の高等教育質保証連携と「資格枠組み(QF)」 (1) ASEAN地域の概況 (2) 「ASEAN 資格参照枠組み(AQRF)」 (3) 「ASEAN 質保証枠組み(AQAF)」 (4) 意義・展望</p> <p>5. 「資格枠組み(QF)」を軸とした今後の我が国高等教育質保証の方向性</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>